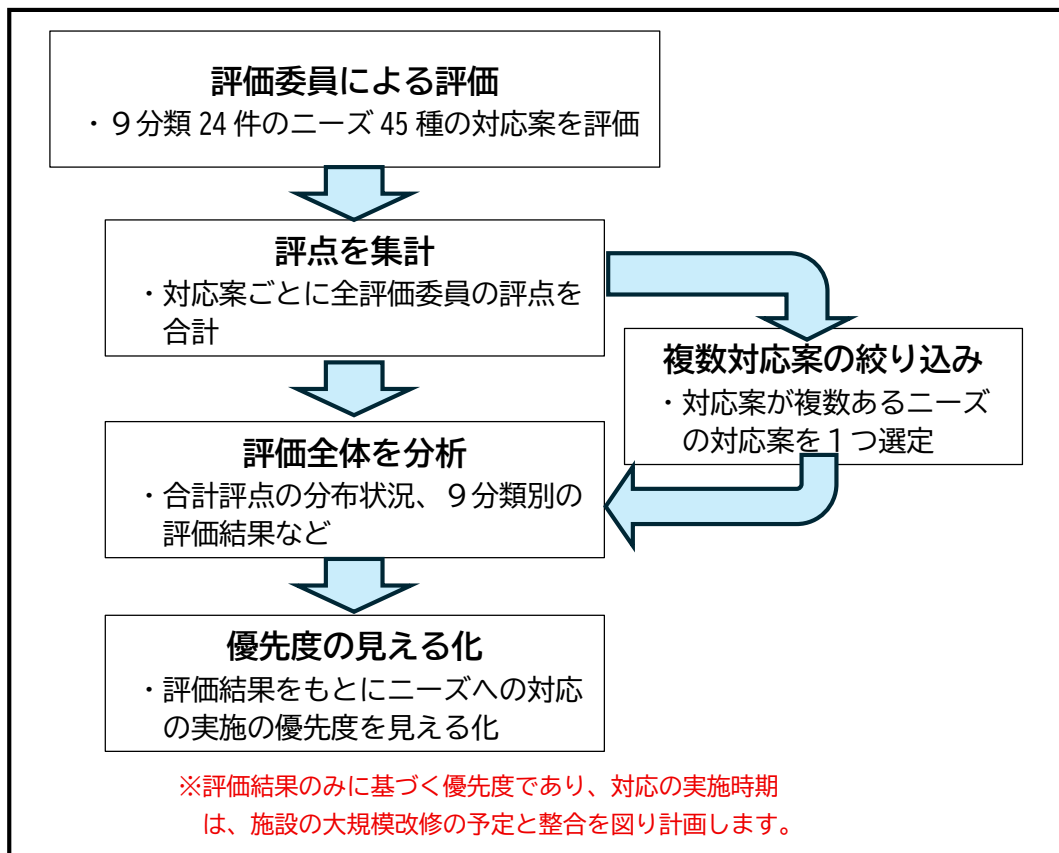


ニーズへの対応の評価結果

(1) 評価の流れ

- ・評価委員の皆様「1. 舞台」～「9. その他」の9分類の24件のニーズに対する計45種の対応案について、「利用頻度」、「重要度」、「満足度への影響」、「導入コスト」、「維持コスト」の5つの視点で5段階評価をしていただきました。
- ・事務局において、対応案に対する評価委員の評価（評点）を集計。
- ・対応案が複数あった13ニーズ（計35対応策）について、各ニーズ1案を選定（最大の評点となった対応案を選定）
……（2）複数対応案の絞り込み（p2～p7参照）
- ・24件のニーズへの対応の評価の全体を分析
……（3）評価全体の分析（p8～p9参照）
- ・24件のニーズへの対応について、実施の優先度が見える化
……（4）優先度が見える化（p10～p12参照）

24のニーズへの対応の評価の流れ



(2) 複数対応案の絞り込み

1) 絞り込みの結果

- ・複数の対応案があったニーズについて、対応を1つずつ選定（評点最大の対応を採用）した結果、24件のニーズへの対応は下表の通りとなります。

【ニーズの内容と対応の一覧】

分類	番号	内容	ニーズ説明等 (関係団体からの要望)	対応
1 舞台	1	舞台の拡張	舞台サイズが狭いという意見あり。 めいりん講堂のステージは幅14m奥行き7.6m。文化会館ステージは幅13.5m奥行き10m	ステージを2m前に広げる
	2	舞台のきしみ、振動対策	・子供たちが踊っている後ろで演奏した際に、舞台が揺れたという意見あり。 ・バレエダンスで床が揺れると、足に負担がかかるため、演目が制限されるという意見あり。	まずは後方グレーチングから音が出ないように対応を行う。たわみについては調査試験を実施し、最適な方法を検討する
	3	緞帳の更新	めいりんの現行の幕（左右開き）が学校仕様。文化会館のような重厚な緞帳を求める声あり。	昇降する緞帳を設置する
	4	バトン（吊りもの用）の改良	保育園発表、演劇等で舞台演出用の釣り物ができるように、バトンを増設するとよいと意見あり。	昇降バトンの本数を増やす
	5	目隠し幕の設置	下手袖、上手袖が客席から見えないような目隠し幕が欲しいという意見あり。	現行の前幕レールに沿わせて袖部分までの幕（電動）を増設（6-2への対応と共通）
2 音響	1	音響設備の充実	音響設備が十分ではないという意見あり。	大型・高出力の機材が必要な場合は利用者が持ち込む運用とする ※大野市文化事業補助金の対象となる場合有り
	2	反響板の充実	現状の反響板は効果がないと意見あり。 ★上面反響板の安全装置は解除可能な状態であり、上面反響板は問題なく稼働することを確認済み	大規模改修に合わせて音響の専門家による再設計を検討する
3 照明	1	現行照明の調整	文化会館に比べステージの光量が足りないという意見あり。	現行照明の角度等を調整する
	2	照明設備の充実	文化会館に比べステージの光量が足りないという意見あり。	ステージライトを増設する
	3	演出照明の充実	ステージ背景に光の模様を映し出す演出照明が欲しいという意見あり。 ※意見徴取当時は演出照明はなかったが、令和8年7月頃に1台設置予定。	《令和8年7月頃に対応予定》 ※令和8年7月頃に演出照明を1台設置予定。

分類	番号	内容	ニーズ説明等 (関係団体からの要望)	対応
4 映像	1	プロジェクターの設置(2階)	2階操作室に光量の高いプロジェクターを設置することで、舞台演出に活用できるのではと意見あり。	ステージ上部に短焦点のプロジェクターを設置する
5 客席・椅子	1	観客座席数の増設	常設の観客座席数が300席であり、大型イベントで座席数が足りないのではと意見あり。	《対応済》 ※めいりんでは大型イベントを開催する場合、別室の椅子を会場に追加し、400席以上でイベントを開催した実績あり。
	2	観客座席の改良	現行の椅子は長時間の鑑賞に向いていないと意見あり。	座り心地が良く、簡易的なひじ掛けのある椅子を300席購入する 『参考商品(FC-311)』
	3	観客座席位置の改善	現状の椅子は幅が狭く、隣の方と接触するという意見あり。	隣席との接触を防ぐため座席間隔を確保する。
	4	観客座席の段差化	現施設の椅子の配置は、2列ずつ同じ高さで配置されている。後ろの方が見にくいので、座席が段状に配置されるとよい意見あり。	前列と左右の位置をずらした座席配置にする＝運用面で対応
6 控室・バックヤード	1	控室の充実	大型イベントの際に、控室が足りないのではという意見あり。	《令和8年度に対応予定》 ※目隠し用の暗幕を設置予定。
	2	舞台袖の設置	舞台袖の出待ちスペースがないという意見あり。	《1-5と重複》 現行の前幕レールに沿わせて袖部分までの幕(電動)を増設
	3	バックヤードの充実	バックヤードが足りないのではという意見あり。 ※ステージ上手下手への移動は、ニーズ調査時に、ステージ裏に通路があるので問題はないという意見が出された	バックヤードを整理することでスペースを確保
	4	防音の充実	前室となる音楽室(音楽準備室)でチューニングが可能なように防音対策をとるとよいという意見あり	別教室で音出しができるよう調整する
7 練習環境	1	音出し可能なスペースの充実	吹奏楽の練習は大音量のため、施設利用が難しい。防音対策により練習場所の確保をお願いしたい意見あり。(具体的にランチルームを防音室として改修できないかと声あり)	ステージや音楽室などを練習場所として活用する
8 防音	1	音漏れ・防音対策	音漏れで講堂と体育館の双方の利用に影響がでることから、同時利用ができないという意見あり。	体育館及び講堂の同時利用を制限するよう調整する

分類	番号	内容	ニーズ説明等 (関係団体からの要望)	対応
8 防音	2	講堂から外部への音漏れ対策	外部と講堂との音の遮音対策をとるとよい	講堂内側に吸音材を貼るなどの対応
	3	雨音の対策	天井からの雨音が講堂に響くので、有料のプロコンサートなどにはできない（有料で鑑賞するお客に失礼）という意見あり。	屋根の改修による雨音の軽減
9 その他	1	ホール歩行時の騒音低減対策	演奏中に観客が移動する時の歩行音（スリッパ音）が邪魔になるという意見あり	«令和8年度から対応予定» ※イベント時に臨時的に部分カーペットを設置する（令和8年度から対応）
	2	北側職員入口の改修	入口が駐車場から離れているので、北側職員入口を改修して、利用者玄関として使うのはいかがでしょうかと意見あり	50人下駄箱を備えた入口を、駐車場側に拡張し、200人規模の利用者玄関に改修する。

※第1回評価委員会の資料の「9. その他」に掲載されていた「3 学校の協力を得て、音楽室を別室へ移動」は、学校に確認した結果、対応不可のため、評価対象から除外します。

2) 複数案から評点最大の案を絞り込み

- ・対応案が複数あった13ニーズ（計35対応策）について、各対応案の評点と選定されたニーズ（最大の評点となった対応案）は以下の通りです。
- ・13ニーズのうち12ニーズにおいて、合計評点が最大となった対応案は4つ以上の視点で最高点となっています。

グラフの凡例



評点

	内容	対応	0	50	100	150	200	250	300
1 舞 台	舞台の きし み、振 動対策	1-2-1 現状の床の上に、剛性の高い床材を貼る	33	27	20	30	22	132	
		1-2-2 床材を剛性の高いものに張り替える	36	30	22	28	22	138	
		1-2-3 床材を剛性の高いものに張り替える＋防振・制振材の挿入（ゴム・制振シート等）	33	30	22	20	21	126	
		1-2-4 後方グレーチングから音が出ないように対応を行う。たわみについては調査試験を実施し、最適な方法を検討する	57	63	36	52	25	233	全ての視点で 最高点
	目隠し 幕の設 置	1-5-1 移動式衝立の設置	63	57	40	40	20		
		1-5-2 現行の前幕レールに沿わせて袖部分までの幕（電動）を増設	69	72	50	38	23	252	導入コストを除く 4視点で最高点
2 音 響	音響設 備の充 実	2-1-1 スピーカーを高出力なものへの入れ替え	60	54	36	34	19	203	
		2-1-2 スピーカーを同規模のものを増設	54	45	36	34	20	189	
		2-1-3 客席側方にサイドフィルスピーカーを設置	54	42	34	32	19	181	
		2-1-4 ミキサー（16チャンネル対応）、アンプ、マイク（16本）、ケーブル（16本）	54	48	32	38	21	193	
		2-1-5 大型・高出力の機材が必要な場合は利用者が持ち込む運用とする	60	63	40	60	28	251	全ての視点で 最高点
	反響板 の充実	2-2-1 反響板の入れ替え	30	30	30	16	19	125	
		2-2-2 移動式反響板の設置	30	33	26	32	19	140	
		2-2-3 大規模改修に合わせて音響の専門家による再設計を検討する	54	69	44	24	21	212	導入コストを除く 4視点で最高点

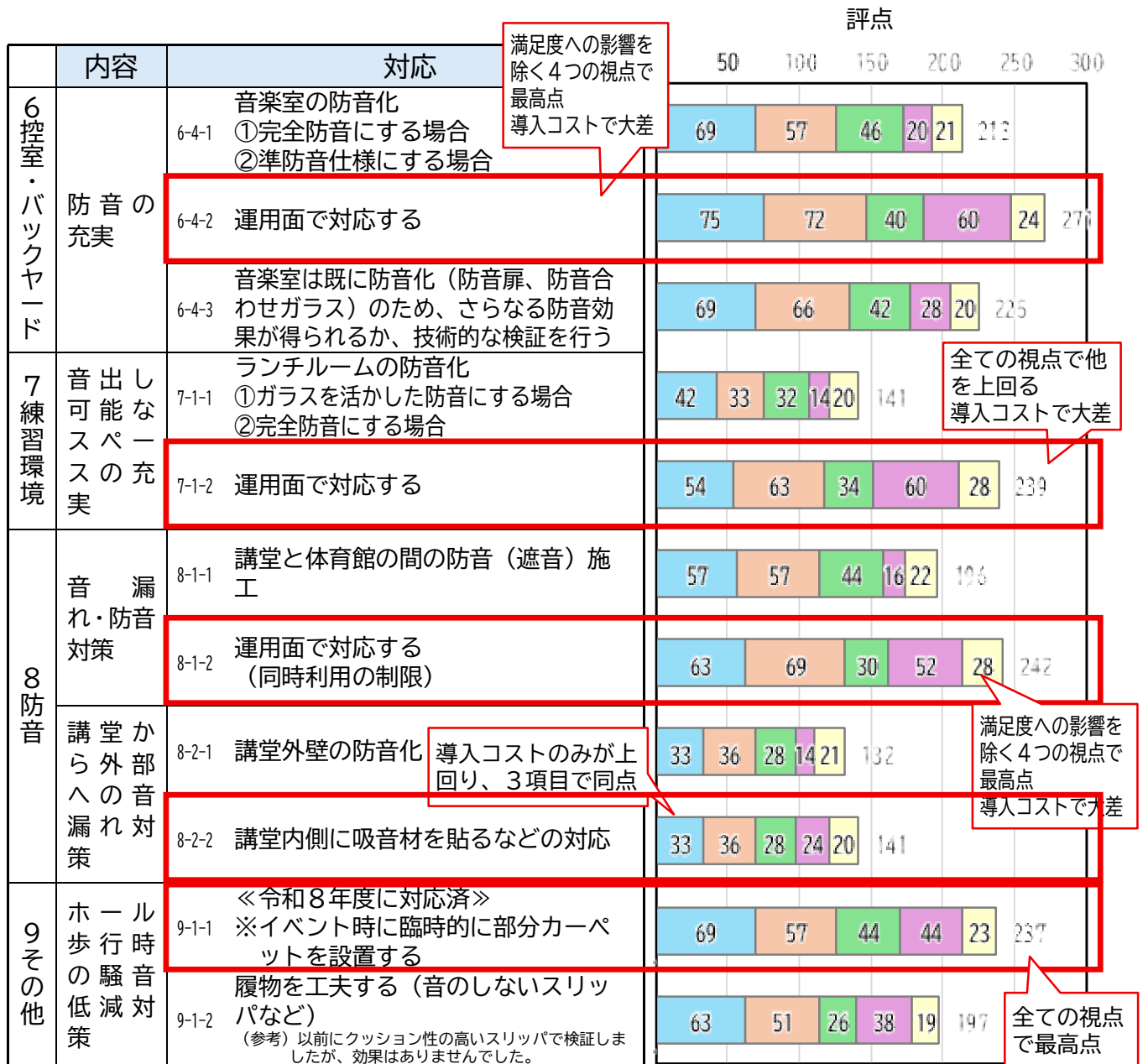
グラフの凡例



評点

	内容	対応	0	50	100	150	200	250	300
3 照 明 明 備 の 充 実		3-2-1 ステージライトを増設する	66	60	42	36	19	223	
		3-2-2 フロントライトを増設する	54	54	38	38	18	202	導入コストを除く4視点で最高点
		3-2-3 スポットライトを増設する	48	48	38	38	18	190	
4 映 像 の 設 置	プ ロ ジ ェ ク タ ー の 設 置	4-1-1 2階部分からもステージに照射可能な、業務用大型プロジェクターを設置する	45	42	34	22	15	158	全ての視点で他の案を上回る
		4-1-2 ステージ上部に短焦点のプロジェクターを設置する	51	51	36	36	18	192	
5 客 席 ・ 椅子	観 客 座 席 の 改 良	5-2-1 座り心地の良い椅子を300席購入する 『参考商品（FC-310）』	78	72	48	28	24	250	
		5-2-2 座り心地が良く、簡易的なひじ掛けのある椅子を300席購入する 『参考商品（FC-311）』	81	72	54	28	25	260	
		5-2-3 座り心地が良く、簡易的なひじ掛けのある椅子を300席購入する 『参考商品（TS-1212）』	72	54	56	20	22	224	満足度への影響を除く4つの視点で最高点
	観 客 座 席 の 段 差 化	5-4-1 現状めいりんの椅子の段差以上に段差をつける	63	39	36	16	22	176	
		5-4-2 前列と左右の位置をずらした座席配置にする＝運用面に対応	72	66	34	52	26	250	満足度への影響を除く4つの視点で他を上回る 導入コストで大差

グラフの凡例



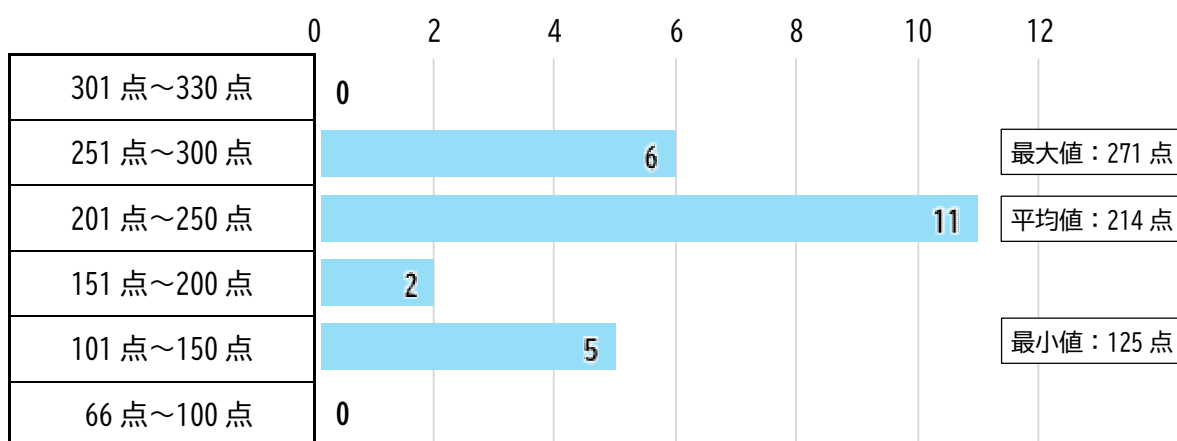
(3) 評価全体の分析

- ・各評価委員の評価の集計結果を分析します。

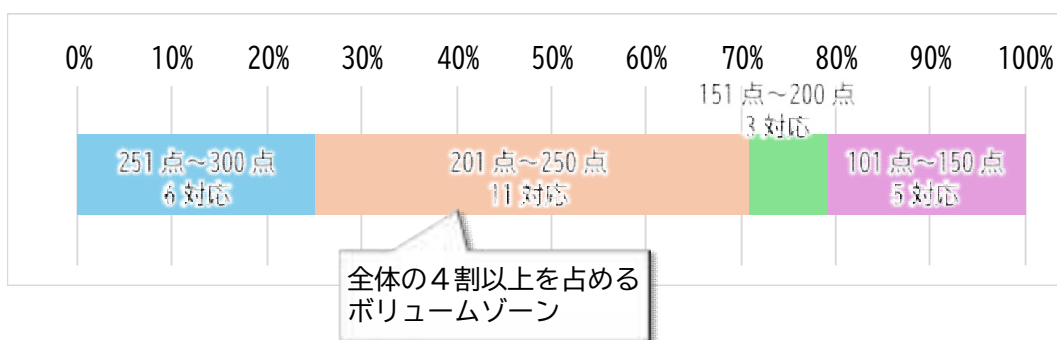
1) 全体

- ・合計の評点を取り得る理論上の値は、最大が 330 点（（利用頻度 15 点＋重要度 15 点＋満足度への影響 10 点＋導入コスト 10 点＋維持コスト 5 点）× 6 人）、最小が 66 点（（利用頻度 3 点＋重要度 3 点＋満足度への影響 2 点＋導入コスト 2 点＋維持コスト 1 点）× 6 人）です。
- ・24 種の対応の評点の最大は、271 点、最小は 125 点、平均は 214 点でした。
- ・評点の層別に対応の個数を集計した結果は、下図の通りとなります。平均を含む 201 点～250 点が最も多く 11 種あり 24 種全体の 4 割以上を占めています。

層別集計（評点合計による 24 種の対応の区分）



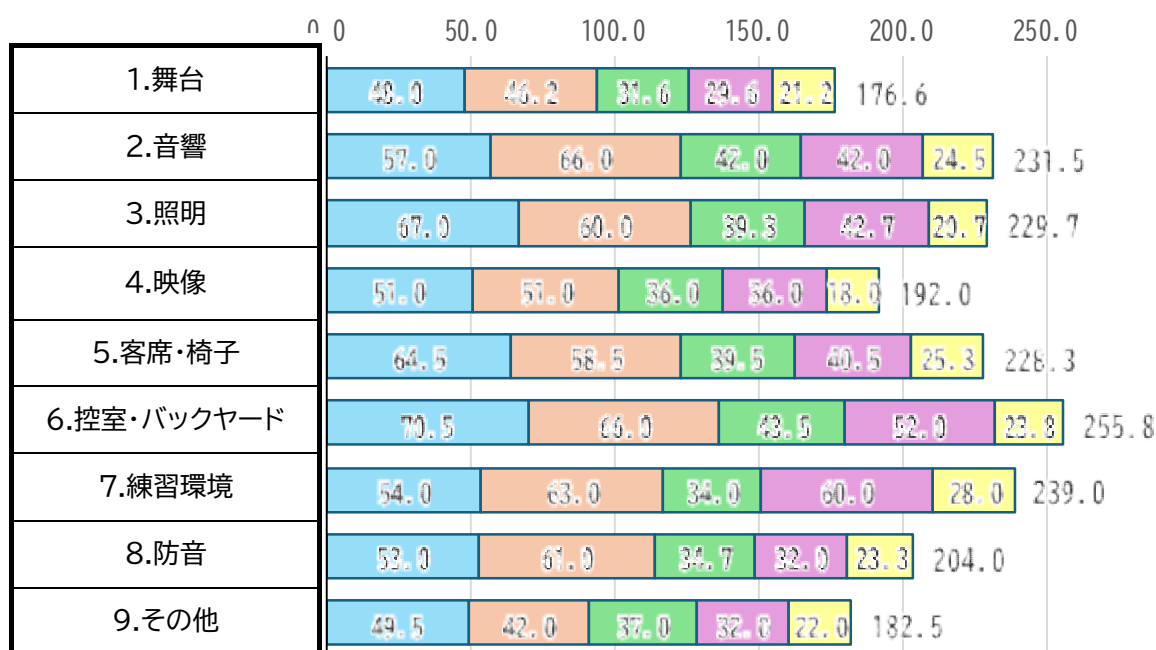
層別集計（評点合計による 24 種の対応の区分（構成））



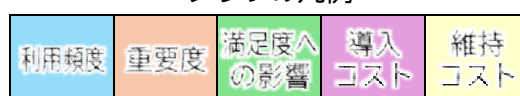
2) 分類別

- ・ 1. 舞台～9. その他までのニーズの対象による分類別に、対応の評点を集計し平均した結果は下図の通りとなります。
- ・ 最も平均値が大きいのは「6. 控室・バックヤード」、2 番目は「7. 練習環境」、3 番目は「2. 音響」となっています。
- ・ 「6. 控室・バックヤード」の対応は、利用頻度および重要度の2つの視点で他の分類の対応よりも評価されています。
- ・ 「7. 練習環境」の対応は、導入コストの視点が他の分類の対応よりも評価されています。また「2. 音響」の対応は、重要度の視点が「6. 控室・バックヤード」と並んで高く評価され、満足度への影響の視点も「6. 控室・バックヤード」に次いで高く評価されています。
- ・ 最も平均値が小さいのは「1. 舞台」、2 番目に小さいのは「9. その他」、3 番目に小さいのは「4. 映像」となっています。
- ・ 「1. 舞台」の対応は、利用頻度、満足度への影響、導入コストの3つの視点で評価が低くなっています。
- ・ 「9. その他」は全体的に評価が低調で特に重要度の視点で他の分類よりも低評価となっています。また「4. 映像」も全体的に評価が低調で特に維持コストの視点で他の分類よりも低評価となっています。

分類別評点の平均点（視点別内訳）



グラフの凡例

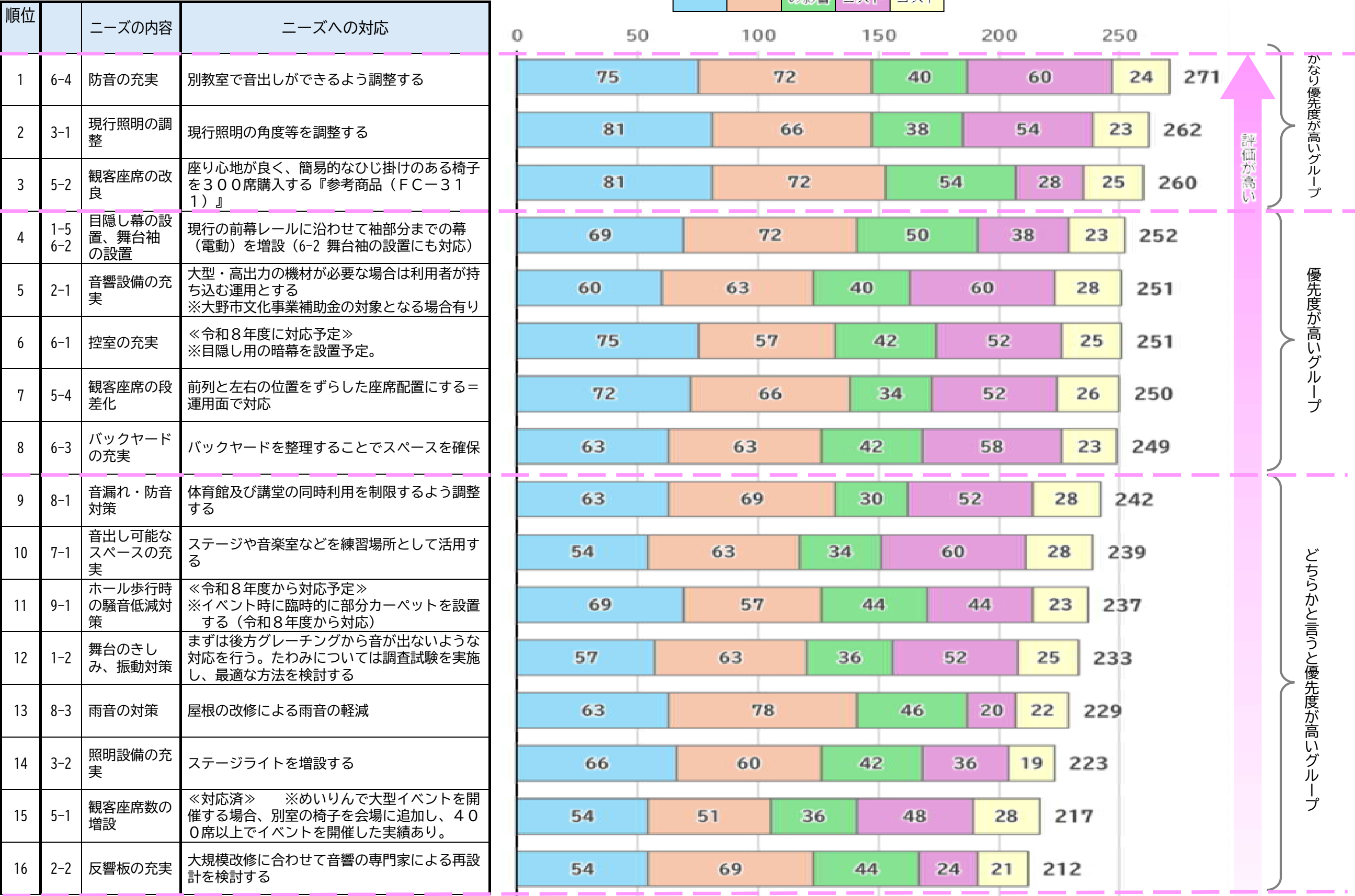


(4) 優先度の見える化

- ・ 24 種のニーズへの対応について評点が大きい順に並べた結果は次のページに掲載の図の通りです。
- ・ 最も評価が高いのは、防音の充実ニーズに対して運用面で対応することで、2 位以降に 9 点差をつけています。視点別の評点の内訳を見ると満足度への影響以外の 4 つの視点で高い評価となっています。
- ・ 2 位の現行照明の角度等を調整する対応、3 位の観客座席に座り心地が良い椅子を購入する対応は、評点がそれぞれ 262 点、260 点と拮抗しています。
- ・ 4 位の現行の前幕レールに沿わせて袖部分まで電動幕を増設する対応の評点は 252 点と、3 位から 8 点差があります。
- ・ 4 位以降で、順位が前後する対応との間に大きな点差が生じているのは、8 位と 9 位の間、(7 点差)、16 位と 17 位の間 (8 点差)、19 位と 20 位の間 (43 点差) となります。20 位から 24 位の 5 つは、得点率が 5 割を下回り、かつ、19 位以上との評点の差が著しく大きくなっています。
- ・ これらの前後の点数の大きさを目安にグループ化すると、1 位から 3 位が「かなり優先度が高いグループ」、4 位から 8 位が「優先度が高いグループ」、9 位から 16 位が「どちらかと言うと優先度が高いグループ」、17 位から 19 位が「どちらかと言うと優先度が低いグループ」、下位 5 つは「対応の必要性が低いグループ」と位置付けることができます。
- ・ 対応を実施する時期は、評価に基づく優先度を踏まえつつ、施設の大規模改修の予定と整合を図り計画する必要があります。

24 種へのニーズへの対応の評点による順位（視点別内訳）

グラフの凡例



グラフの凡例



順位		ニーズの内容	ニーズへの対応
17	3-3	演出照明の充実	「令和8年7月頃に対応予定」 ※令和8年7月頃に演出照明を1台設置予定。
18	4-1	プロジェクターの設置（2階）	ステージ上部に短焦点のプロジェクターを設置する
19	5-3	観客座席位置の改善	隣席との接触を防ぐため座席間隔を確保する。
20	1-1	舞台の拡張	ステージを2m前に広げる
21	8-2	講堂から外部への音漏れ対策	講堂内側に吸音材を貼るなどの対応
22	1-4	ボタン（吊りもの用）の改良	昇降ボタンの本数を増やす
23	9-2	北側職員入口の改修	50人の下駄箱を備えた入口を、駐車場側に拡張し、200人規模の利用者玄関に改修する。
24	1-3	緞帳の更新	昇降する緞帳を設置する
	9-3	音楽室の充実	「対応不可」 ※学校に確認の結果、他の授業の妨げになるので、部屋を移動させることはできない

